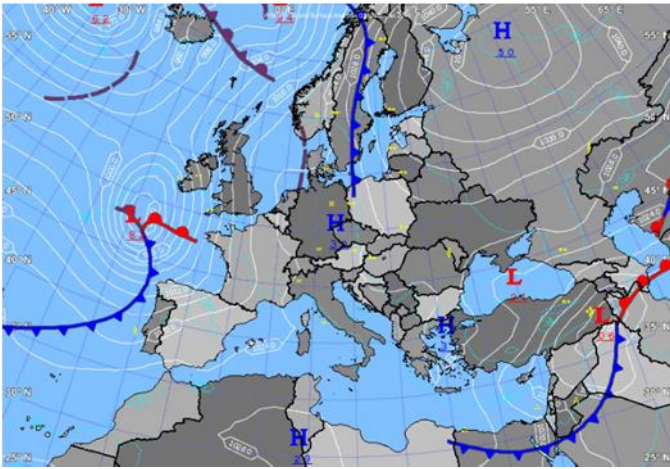


「オーロラに期待」

元日のラップランドは、気温は -5°C と、冬の北極圏にしては非常に高かったのですが、珍しく風が強く、しかも一日中曇っていました。



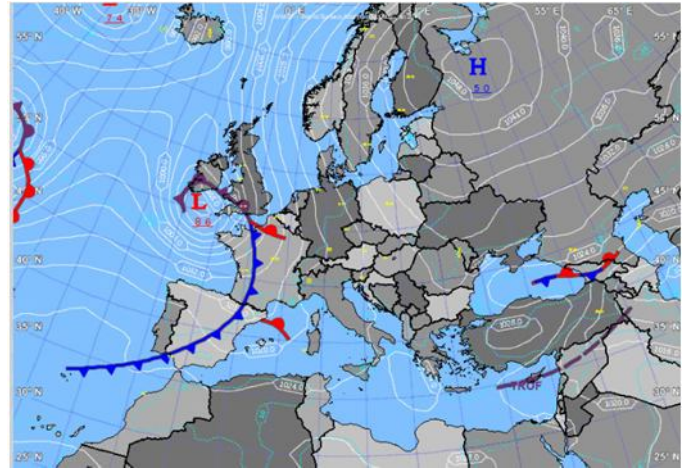
写真は、私が滞在しているコテージ(バンドラヘム)です。駅舎からすぐ近くなのですが、風が強く、どうしても防寒具と長靴が必要でした。



2016, -1, -1 12:00 UTC

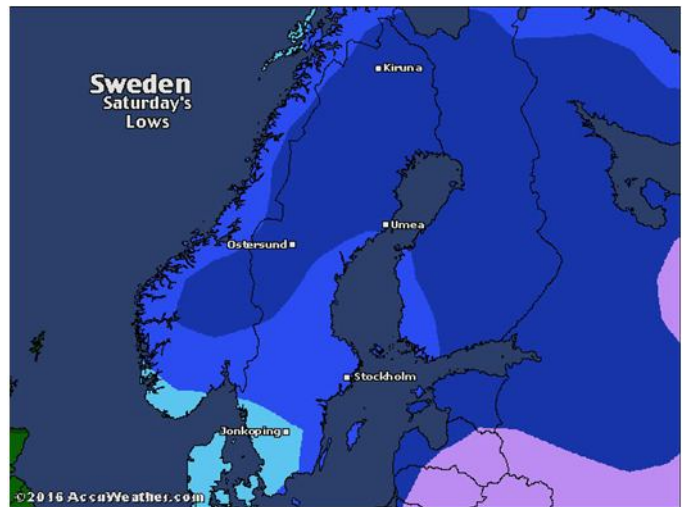
強風の原因を知りたくて、ヨーロッパの天気図を見ました。イギリス沖に、台風並みの優勢な低気圧があります。ただ、この低気圧は、ラップランドには直接影響を及ぼしていないようです。もう一つ、北海にも強い低気圧があり、そこから延びる寒冷前線が、スカンジナビア半島を縦断しています。元日のお昼前後に風が急に強まって、気温が低下したのは、この寒冷前線の通過が原因だったのです。しかし、ロシア北部のサンクトペテルズブルグ付近には、強烈な高気圧(1050 hPa)が蟠踞し、徐々に西側に勢力を延ばして

いるようです。



2016, -1, -1 12:00 UTC

上図は、前の天気図から12時間後のものです。寒冷前線は消滅し、ロシアの高気圧が、フィンランド北部付近まで張り出してきています。風も弱まり、天気は快方に向かっているようです。



2016, -1, -2 の気温予想 濃い青は -15°C

土曜日の気温の予想も -15°C 。このあたりでは、気温は低ければ低いほど、よく晴れます。更に内陸ほど気温は低い傾向にあります。 -20°C よりも下がった場合は、ほぼ100%晴れるので、これは期待できそうです。

今回の渡航の最重要目的は、オーロラ生中継カメラの更新です。元日は、東京の技術者と「スカイプ」で一日中交信しながら、オーロラカメラの設置作業をし

ていました。機材は、あらかじめ日本から EMS で送ってもらってあったのですが、そのうち最も重要な全天カメラの魚眼レンズが、輸送中に損傷していました。こちらで調達はできないので、別のカメラの部品を流用して、修理をしました。カメラの上についている金属製の部品は、遠隔操作でカメラを再起動させる装置です。



カメラの設置そのものは順調ですが、回線速度や、全天カメラの設置方法に、まだ問題が残っています。ヨックモックのホームセンターに行って、設置用の台座を自作する必要があるようです。このままですと、3日に列車でナルビク（ノルウェー）に行く計画はお流れになる可能性があります。

しかし、ナルビクは何度か行ったので、オーロラカメラの設置を優先させようと思います。



元旦の朝食は「お雑煮」でした。同行者の方が日本から材料を持ってきて、作ってくれたのです。遠い北極圏で食べるお雑煮は、また格別でした。お椀がないのが残念でしたが・・・。

ポルユスには、こんなにすばらしいオーロラが出現します。これを再び、世界中に生中継でお届けしたいと思います。（2013年撮影）

